

第一貨物

安全最優先 再徹底し 運転技能競技会を開催



交差点右左折や横断歩道進入時の一時停止・最徐行を意識した運転が多く見られた

と大会運営委員長の仁科秀樹常務。作業優先になっていた部分があったことは否めないとし「一から出直すという気持ちで

13日に学科と省燃費運転実技、14日に日常点検と運転実技が行われた。14日の開会式に先立ち、昨年12月16日に東京都板橋区内で起こした交通事故で亡くなった児童に全員が黙とうを捧げた。

大会は、プロドライバーとしての社会的責任を自覚し、法令順守と安全意識高揚を図り、事故根絶を目指すことが目的。

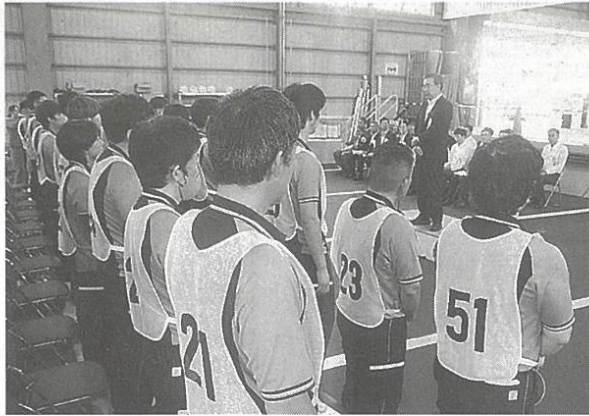
第一貨物（本社・山形市、越智史朗社長）は14日、山形県天童市にある中央研修所で「運転技能競技大会」を開催した。昨年12月の交通死亡事故を受け、安全最優先の徹底を再確認し、共有する場ともなった。

大会長を務める越智社長は「われわれの仕事はまず安全が重要で、次に正確性、その次にスピードが重要だ。決してこの順番を間違えてはいけな

い」とあいさつで強調。また「全社で基本動作徹底に力を入れている」

競技の結果、団体の部優勝は山形支社Aチーム。個人の部優勝は、大型が北関東支社Bチームの市川正嗣さん、4ト車が仙台支社Aチームの古館快さん、2ト車が仙台支社Bチームの鳥谷部陸さん、女性の部が仙台東支店の原田さゆきさん、フオークが山形支社Aチームの菅野光次朗さん。

（矢田 健一郎）



「安全最優先を改めて肝に銘じてほしい」と開会式で越智社長（右奥）